

ごあいさつ



日ごろから、墨田区政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

墨田区は、歴史や伝統文化が息づく人情あふれるまちです。また、近年は国際観光都市としても注目を集めています。新旧の魅力が混在するまちとして、その姿は変化し続けていますが、「人と人とのつながり」を大切に作る絆の深さは、変わることがありません。

こうした「すみだ」ならではのまちの魅力を活かし、区では「暮らし続けたい 働き続けたい 訪れたい」まちの実現に向けて、様々な事業を展開しています。

この「すみだ 暮らしのガイド」は、区民の皆さんの生活に関係の深い区の事業や施設をはじめ、お薦めスポットなどもご紹介しています。暮らしの手引きとして、ぜひご利用ください。

墨田区長 山本 亨

令和6年11月発行

■編集・発行

墨田区 企画経営室 広報広聴担当

〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20
TEL 03-5608-1111(代表)

株式会社ランズ

本誌に掲載されている情報は、今回の発行に合わせて、内容の変更をしていますが、一部、令和4年10月現在のものも含まれます。また、発行後、内容に変更が生じている場合もありますので、最新の情報は、墨田区のお知らせ「すみだ」や区のホームページなどでご確認ください。

すみだヒストリー 墨田区はこんなまちです	P2	
すみだって、こんなところ すみごち／歴史と文化／まち歩き／ものづくり／ おでかけカレンダー／区内の交通案内	P4	
エリアガイド 東京スカイツリー®周辺 吾妻橋・押上／ 八広・京島／向島・鐘ヶ淵／錦糸町駅周辺／両国	P16	
墨田区役所のご案内 墨田区役所・各出張所	P26	
もしものときは(救急診療・防災情報) 救急診療／すみだ健康マップ／防災情報／ 防災パンフレット・マップ／被災したとき	P28	
各種相談窓口 区政全般／暮らし／法律・交通事故相談／ 子育て相談／福祉／住まい／仕事／年金・税金	P30	
施設案内 保健施設／福祉施設／図書館・資料館・美術館／ ごみ・リサイクル関連施設／区民施設	P32	
届出・登録・証明 戸籍／住民登録／マイナンバー(個人番号)カード／ 印鑑登録／各種証明	P33	
健康保険・年金 国民健康保険／後期高齢者医療制度／国民年金	P36	
税金 住民税(特別区民税・都民税)／ 軽自動車税(種別割)／納税／税金の証明	P37	
暮らし ごみ／ペット／衛生／自転車／交通傷害保険／ 区内循環バス／住まい	P38	
子育て 相談窓口／妊娠したとき／手当・助成／ 子どもの予防接種／保育施設・幼稚園／小学校・中学校	P40	
福祉 高齢者／介護保険／障害のある方／生活福祉	P42	
区政・広報 すみだ区報／ホームページ／SNS／区政情報番組／ 区公式YouTubeチャンネル／広聴(区長への手紙)	P44	
お役立ちガイド・マップ・サイト すみだガイドマップ／すみだウォーキングマップ／ 地域活動ガイドブック／サイトもチェック!	P45	
索引 インフォメーション(企業広告)	P46 P47	

すみだヒストリー

これまで歩んできた**すみだの歴史**を紹介します。

中世	9世紀頃	「すみだ川」の形成 平安時代の歌物語「伊勢物語」にもその名が記されている。
	開発が進み、農村地帯へと発展を遂げる	
江戸時代	1657年(明暦3年)	振袖火事により江戸の大半が焼失 その後の防火対策中心の都市復興により1659年(万治2年)に隅田川に両国橋が架けられ、南部(本所)が武家屋敷などの移転先に。
	1700年代	墨堤の桜、隅田川の花火大会、 両国の相撲が誕生
	1702年(元禄15年)	吉良邸討ち入り
明治・大正	近代化とともに工業地帯へ発展 紡績、精密工業、石けん製造、革靴などの生産が盛んに。	
	1894年(明治27年)～	交通網の発達 現在の総武線や、東武鉄道、京成電気軌道などが開通。
昭和	1923年(大正12年)	関東大震災
	1945年(昭和20年)	東京大空襲 すみだの約7割が廃墟と化す。
	1947年(昭和22年)	本所・向島両区が合併して墨田区が誕生 中小企業のまちとして復興を遂げていく。
	1978年(昭和53年)	隅田川花火大会が復活
平成	1990年(平成2年)	墨田区役所庁舎が完成
	2003年(平成15年)	営団地下鉄半蔵門線が押上まで延伸
	2012年(平成24年)	東京スカイツリー®が開業 観光スポットや文化施設の建築も進み、すみだの新たなシンボルが誕生。
	2016年(平成28年)	すみだ北斎美術館が開館
令和	2019年(令和元年)	フクシ・エンタープライズ墨田フィールド (墨田区総合運動場)開場
	2020年(令和2年)～	区内初の大学が誕生 iU情報経営イノベーション専門職大学が開学。さらに、千葉大学墨田サテライトキャンパスが開校。
	2021年(令和3年)	東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会の会場に 両国の国技館でボクシング競技を実施。
	2024年(令和6年)	すみだ保健子育て総合センターが完成
これからもさらに魅力あふれるすみだのまちへ発展していきます		



広重筆による花見でにぎわった隅田川堤



大正5年頃の旧両国国技館



隅田川花火大会



東京スカイツリー®



千葉大学
墨田サテライトキャンパス

iU情報経営イノベーション
専門職大学

墨田区はこんなまちです



区章



区の木
サクラ



区の花
ツツジ

誕生 1947年(昭和22年)

面積 13.77km²

人口 285,784人
(令和6年4月1日現在)

シティプロモーション ロゴマーク



墨田区のシティプロモーションは、すみだの地域力が一層高められるように、区民の地域に対する愛着と誇り（シビックプライド）を高めていくことを目的に実施します。

墨田区のシティプロモーションを統一的なイメージで幅広く展開していくために作成された、このロゴマークには、本区に暮らす・働く・訪れる、すべての人に「つながり」の温かさを魅力に感じてもらい、それを地域の力へと変えていきたいという想いと、本区が「これからも『人と人とのつながり』を大切にしながら、未来への道を歩んでいく」

という決意を表しています。

このロゴマークを、皆さんの活動の場でぜひご活用ください。



ひと、つながる。
墨田区

すみだのSDGs



SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年に国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、17の目標（ゴール）と169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを目標に掲げています。

墨田区は、2021年度に内閣府より先導的なSDGsの取り組みを行う自治体として「SDGs未来都市」、「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。

SDGsの推進をけん引する自治体として、区民、事業者等と連携を図りながら、行政や地域が抱える課題の解決を着実に進めていくとともに、本区が大切にする「人と人とのつながり」を活かしながら、どこよりも素敵で魅力的な「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまち」の実現を目指します。





すみだって、
暮らしやすい
こんなところ

楽しみ
いっぱい

公園やお店がいっぱい、子育てもしやすい

すみごち



広くて
気持ちのいい
公園があります

桜の名所として知られる隅田公園は約8万㎡もの広さがあります。錦糸町駅そばの錦糸公園も野球場やテニスコートを併設した広い公園。ペットを散歩させたり、芝生の上でくつろいだり、体を動かしたり。いつも多くの人の笑顔があふれています。また、まちのあちこちに、ひと休みできる小さな公園がたくさんあるのもすみだならではの。

隅田公園

隅田川沿いに広がり川風が気持ちいい。園内には日本庭園もあります。

→P16





子どもたちの 遊び場も いっぱい!

業平橋から撞木橋まで、約1.8kmにわたって5つのゾーンがある大横川親水公園。魚釣り場や遊具のあるエリアなどがありますが、特に水遊びのできるじゃぶじゃぶ池は子どもたちに大人気。ほかにも区内には、大規模な遊具がそろった公園や、ブランコやすべり台が置かれた公園など、子どもたちが安心して思う存分遊べる場所がたくさんあります。



大横川親水公園
5つのゾーンに分かれ、魚釣り場は無料。大人もアウトドアレジャーが楽しめます。
→P22



すみだの魅力は、とにかく生活がしやすいこと。
休日を過ごすのに最適な公園があり、商店街や魅力的なお店が多く買い物にも便利。
子どもたちの遊び場や、子育ての支援が充実しているのも魅力です。



デパートから 商店街まで 買い物にも困らない

錦糸町駅周辺は、デパートや商業施設の大きなビルが建ち並ぶ一大ショッピングタウン。一転して、下町人情キラキラ橋商店街や鳩の街通り商店街のような、細い路地に小さな個人商店が並ぶ懐かしい雰囲気のある商店街もあります。長い歴史を誇る老舗など名店も点在。最先端のファッションから日々のお惣菜まで、便利に楽しく買い物できます。



**下町人情
キラキラ橋商店街**
懐かしい下町の雰囲気魅力です。
→P18

いろいろな 施設や制度で 子育てを応援します

すみだのまちかどでは、小さな子どもを連れた家族連れ、お年寄りなどが、おだやかな笑顔を浮かべて歩いている姿を多く見かけます。それは、すみだが住みやすく、働きやすいまちだから。特にすみだは、安心して子育てができる、子育て世代にやさしいまちです。

助成や制度等による支援のほか、子育てひろばや地域の児童館、保育コンシェルジュによる相談サービスなど、子育てを積極的にサポートする施設やサービスも充実しています。また、のびのびと遊べる公園や水族館など、お子様連れで楽しめるスポットもたくさんあります。

子育てに関する支援制度は →P40

すみだ子育て応援サイト

区の子育て情報をまとめた「すみだ子育て応援サイト」(区公式ホームページ)もご活用ください。



文花子育てひろば



子育てひろば

親子で遊びながら、親同士、子ども同士が交流できる施設。子育てに関する悩み相談もできます。



両国子育てひろば



保育コンシェルジュによる 相談サービス

保護者の方の個別のニーズに合わせた保育施設・保育サービスの情報提供を、墨田区役所1階「おひさまルーム」でご案内しています。



東向島児童館分館

"キラむこ"の愛称で親しまれる当施設は、大型複合遊具やボールプール等、子どもたちが元気に楽しく遊べる設備が整っています。

アスレチックロッジ

ボールプール



クライミングウォール



ひがしんアリーナ
(墨田区総合体育館)

プール、スタジオ、トレーニング室などがあり、更衣室や温浴施設も完備しています。

→P22

プール



スタジオ



トレーニング室

ウォーキングから 本格スポーツまで 楽しめます

子育て世帯にやさしいのはもちろん、大人が満足できる施設が整っているのもすみだの魅力。区内の公園は、ウォーキングを楽しんだり、ちょっと体を動かして汗をかくのに絶好。また、スポーツ好きな人にうれしい、陸上競技場や野球場、テニスコート、プールなどを備えた本格的な運動施設もあり、気軽に利用できます。

公園やお店がいっぱい、子育てもしやすい

すみごこち

学びの場も 数多く 用意されています

人生100年時代、大人から子どもまで、生き生きと暮らすための学びの場が図書館や資料館、美術館や博物館などの文化施設。もちろんすみだにも、知的好奇心を刺激する個性と魅力あふれる施設が多数あります。またこれらの施設では、随時セミナーやイベントが開催されているほか、趣味のサークル活動なども盛んです。ぜひ参加してみてください。

**すみだ生涯学習センター
ユートリヤ**

区民の文化活動や生涯学習の拠点。サークルの紹介や、生涯学習に関する相談も受け付けています。

→P20



ひきふね図書館

図書館

区内には充実した図書館も多数。本を読んだり資料を探したり、だれでも気軽に利用できます。



すみだって、
楽しみいっぱい
暮らしやすい
こんなところ

情緒あふれる歴史スポットと多彩な文化

歴史と文化

葛飾北斎をはじめ、すみだは多くの偉人にゆかりがあるまち。相撲や名庭園など江戸情緒が息づくスポットも多数。美術館や博物館で歴史や文化を学ぶこともできます。



北斎

あの葛飾北斎は
すみだで生まれて
すみだに暮らした

日本を代表する浮世絵師として世界に知られる葛飾北斎は、今から約260年前にすみだで生まれました。3万点もの作品を残した北斎は、90年の生涯にわたって隅田川沿いで暮らしました。掃除をしないので、部屋が汚れるたびに90回以上も引っ越しを繰り返したというエピソードも。北斎は、すみだの風景も多数描いています。



溪斎英泉「北斎肖像画」
国立国会図書館デジタルコレクションより

葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
すみだ北斎美術館蔵



葛飾北斎
「富嶽三十六景 凱風快晴」
すみだ北斎美術館蔵

すみだの各所に設置されている
「葛飾北斎ゆかりの案内板」
にもご注目ください。



すみだ北斎美術館

→P24

北斎と門人の作品や、北斎の生涯、北斎とすみだとの関わりを紹介しています。



相撲



大相撲の1月・5月・9月場所のほか、多くのイベントが開催される国技館



まちの各所に 歴史の面影が 色濃く残る

明暦3年（1657）の振袖火事ではほぼ焼き尽くされた江戸のまち。その復興のなかで、すみだには、焼死者を弔う回向院が建てられ、両国橋が架けられ、武家屋敷の移転先となりました。その後、行楽地として人気となり、華やかな町人文化が花開きます。今も多くの人に親しまれている墨堤の桜や隅田川の花火、両国の相撲などはこの時代に誕生しています。まちを歩けば、すみだの歴史や文化を物語るさまざまなスポットに出会えます。

名園



旧安田庭園は、元禄年間に常陸国笠間藩主・本庄氏により築造されたと伝えられる大名庭園

刀剣博物館

→P24

世界でも珍しい「日本刀」の博物館。現代まで受け継がれてきた伝統美術品ともいえる日本刀の魅力を紹介しています。



→P20

向島百花園は、唯一現代に残る風情あふれる江戸時代の花園



→P24

江戸時代から庶民に篤く信仰された回向院。時代劇などでおなじみの義賊・鼠小僧の供養碑がある

江戸東京博物館

「江戸」と「東京」をテーマに、数多くの資料を展示する博物館。原寸大の復元模型やジオラマが見どころ。

※2025年まで改修工事のため休館中



左/八代將軍吉宗が飢饉と疫病による死者の供養と災厄除去を祈願して開催した「両国川開き」が起源とされる隅田川花火大会
右/「墨堤の桜」として愛されてきた隅田川沿いの桜



江戸情緒

すみだって、
暮らし
やすい
こんなところ

楽しみ
いっぱい

下町から先端スポットまで
バラエティ豊かなまちの表情

まち歩き

2020年に東京ミズマチ[®]がオープンするなど、ニュースポットも続々誕生しているすみだ。
まち歩きがますます楽しくなっています。



東京ミズマチ[®]

北十間川沿いに専門店、カフェ、雑貨店など、高感度のショップがそろいます。

→P16



思いもかけない 場所で スカイツリービュー

すみだのシンボルといえば、やはり東京スカイツリー[®]。ここから錦糸町駅方面へまっすぐ1.2kmにわたってのびるのが、その名もタワービュー通り。電線の地中化によって、ツリーを見るのに遮るものはありません。ほかにも、まちのいたるところで、思いがけないところに東京スカイツリー[®]が顔を出します。



タワービュー通り

浅草通りから北斎通りまでを南北に貫く通り。道路上に、東京スカイツリーまでの距離の表示も。



お相撲さんに 会えるかも？

両国国技館のある両国は、相撲の聖地。両国駅から回向院までの通りには、相撲に関するオブジェがいっぱい。周辺には相撲部屋も多くあるので、まちで浴衣姿のお相撲さんをよく見かけます。また、花街として知られ、料亭が点在する向島は、花火大会の打上会場近くのまちとしても有名です。

エスニック レストランや おしゃれカフェも

両国にはちゃんこ鍋のお店、向島には老舗の和菓子店、錦糸町には各国料理の店が多数。もちろんリーズナブルな町の食堂も。おしゃれ系のカフェ、味自慢のレストラン、地元で大人気のパン店やスイーツショップなどなど、すみだには個性派のショップがたくさんあります。

文学散歩も楽しめます

向島に居を構え、多くの傑作を生んだ明治の文豪・幸田露伴をはじめ、森鷗外や永井荷風、淡島寒月など、すみだは多くの文人墨客に愛されました。ゆかりの地や、文学碑を訪ねる文学散歩も楽しめます。



露伴児童遊園



すみだって、こんなところ
まち歩き

すみだって

楽しみ
いっぱい

暮らし
やすい

こんなところ

伝統工芸や近代産業が息づくまち

ものづくり

長く受け継がれてきた熟練の職人の技から町工場まで
すみだには、さまざまなものづくり産業がはぐくまれ、私たちの暮らしを彩ってきました。



脈々と受け 継がれてきた 伝統の技と美

江戸時代からすみだは、日常生活品などを作る職人が多く住むものづくりのまちでした。美しく硬質な輝きを放つ江戸切子、繊細なかざり簪（かんざし）などの金属加工製品、江戸木目込み人形、江戸木箸、漆工芸品、べっ甲細工、藍染など、すみだには、熟練の職人技が生み出す多くの伝統工芸が今も息づいています。

伝統
の
技



こころ、ゆさぶる。
すみだ
モダン

ここから
アクセス



すみだを代表する 和スイーツ

すみだのグルメといえば、相撲にルーツをもつちゃんこ鍋などが知られていますが、和食、洋食、パン、スイーツなど美味しいものを提供のお店が盛りだくさん。なかでも、すみだならではの歴史を感じさせる、長く愛されてきた銘菓がこちら。

人形焼

創業昭和26年。卵問屋から始まったこの店の人形焼は、ふっくらした生地の中に上品な甘さのこし餡がたっぷり。たぬきの形もユニークです。



山田家 本店（錦糸町駅前店）
〒墨田区江東橋3-8-11
☎03-3634-5599

言問団子

江戸末期の創業以来の味を守り続け、串に刺さずに提供する小豆・白・味噌餡入りの3色団子。あっさりとした甘味が魅力。



向島 言問団子
〒墨田区向島5-5-22
☎03-3622-0081

桜もち

享保2年（1717）に、創業者が土手の桜の葉を塩漬けにして桜もちを考案、長命寺の門前で売り大人気。当時のままの美味です。

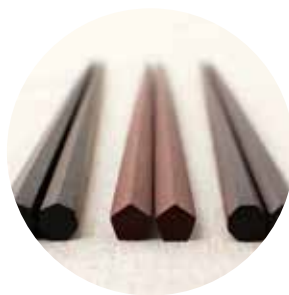


長命寺 桜もち
〒墨田区向島5-1-14
☎03-3622-3266



近代の製品

墨田区では、社会課題等に取り組む事業者の「活動」や、それに付随する「商品」を「すみだモダン」というブランド名で認証し、“ものづくりのまちすみだ”をPRしています。商品だけでなく、そのバックグラウンドにある事業者の想いや活動が織りなす“こころ、ゆさぶる”すみだモダンの数々に、ぜひ、ご注目ください。



暮らしを支える made in SUMIDA

ものづくりの歴史をもつすみだは、明治期には紡績、精密工業、石けん製造、革靴などの製造が盛んになります。そして都心に近い製造拠点、近代産業発祥の地として発展しました。すみだでは、人々の日常生活に密着した数々の製品が今日も生み出されています。

すみだって、
暮らしやすい
こんなところ

楽しみ
いっぱい

おでかけカレンダー

イベント等については、諸般の事情により変更・中止になる場合があります。

3月下旬～4月上旬

墨堤さくらまつり

隅田公園

3月下旬～4月上旬

錦糸公園桜まつり

錦糸公園

4月中旬

早慶レガッタ

隅田川新大橋上流
～桜橋上流

9月上旬

香取神社例大祭

香取神社

9月中旬

牛嶋神社例大祭

牛嶋神社

spring

春

4月下旬～5月上旬

すみだ
鯉のぼりフェア
白鬚橋上流水辺テラス

4月・10月

すみだガラス市

大横川親水公園

10月中旬

北斎祭り

北斎通り周辺

10月～11月頃

菊花展

横網町公園



夏

summer

6月上旬

白鬚神社例大祭

白鬚神社

7月最終土曜日

隅田川花火大会

桜橋～言問橋
駒形橋～厩橋

11月中旬

スミファ

墨田区全域

8月1日・2日・3日

墨田区民
納涼民踊大会

東京ソラマチ®

8月

隅田川
納涼水辺まつり

白鬚橋上流水辺テラス

8月～10月頃

すみだストリート
ジャズフェスティバル

墨田区全域

8月中旬

隅田川
とうろう流し

隅田川

2月中旬～下旬

香梅園梅まつり

香取神社

すみだには、一年を通じて、伝統を感じさせるお祭りや季節を彩るイベントが盛りだくさん。

すみだに住んだら、まずはお祭りやイベントをのぞいてみて!

区内の交通案内

電車

すみだには、JR 総武線、総武快速線、東京メトロ、都営浅草線、京成押上線、東武スカイツリーラインなど、多くの鉄道路線が通じ、また錦糸町駅、押上駅、両国駅など、複数の鉄道路線が乗り入れる駅がいくつもあります。これらの駅から東京駅や銀座、日本橋への所要時間はわずか20分ほどと、都心からとても近く、通勤や通学・ショッピングにもとても便利です。羽田空港・成田空港へも約50分と旅行や出張にもアクセス良好です。

バス

区内の移動には、墨田区内循環バス「すみだ百景 すみまるくん・すみりんちゃん」が便利。押上駅を起点に、北西部・北東部・南部の3ルートで運行しています。運賃もお手頃で、乗り放題の1日乗車券もあります。ほかに、都営バスも多数運行しています。



船・水上バス

すみだならではの交通手段が水上バス。墨田区役所前うらおい広場のそばにある「吾妻橋船着場」や、両国国技館向かいの「両国リバーセンター」から、(公財)東京都公園協会運営の水上バス「東京水辺ライン」が運航中。浅草、竹芝、お台場と結んでいます。



10月上旬

すみだまつり・
こどもまつり

錦糸公園
墨田区総合体育館

10月中旬

すみだ川ものコト市

牛嶋神社

11月中旬

秋葉神社鎮火祭

秋葉神社

autumn

秋



winter

冬

12月第2土・日曜日

吉良祭・元禄市

本所松坂町公園周辺

1月1日~7日

隅田川七福神めぐり

三囲神社、弘福寺
長命寺、向島百花園
白鬚神社、多聞寺

2月上旬~3月上旬

向島百花園梅まつり

向島百花園

2月下旬

国技館5000人の
第九コンサート

国技館

3月中旬

28万人の
平和メッセージ

すみだリバーサイドホール
1階アトリウム